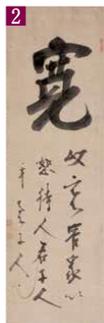




# 第一章 白隠慧鶴とその師たち



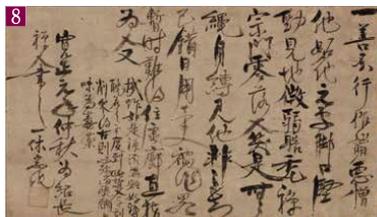
1 「愚堂東寔像」愚堂東寔 承応2年(1653)  
 2 白隠慧鶴 墨蹟「寛」江戸時代(18世紀)  
 3 至道無難 墨蹟「和漢朗詠集抄」(部分) 寛文5年(1665)

# 第二章 白隠慧鶴の弟子東嶺圓慈とその周辺



4 東嶺圓慈 墨蹟「柏樹子話有賊之機」江戸時代(18世紀)  
 5 列祖像三十三幅のうち「第二十八祖 達磨像」東嶺圓慈 江戸時代(18世紀)  
 6 春叢紹珠「大応・大燈・関山像」江戸時代(18~19世紀)

# 第三章 禅僧の墨蹟・禅画 開帳!!



7 重要文化財  
 良全「白衣観音像」乾峰土曇贊  
 鎌倉~南北朝時代(14世紀)  
 一宮市博物館寄託  
 8 墨蹟「偈頌」

※すべて妙興寺蔵

1 「達磨図」(部分)  
 白隠慧鶴自画像  
 江戸時代(18世紀)  
 2 靈源慧桃 墨蹟  
 「正受老人垂誡語」(部分)  
 江戸時代(18世紀)  
 3 白隠慧鶴「尺牘」(部分)  
 享保20年(1735)  
 白隠慧鶴 墨蹟「慈」(部分)  
 江戸時代(18世紀)

■ 2階たいけんの森 わくわく体験  
**「禅僧の書」関連企画 小さな書の掛け軸**

【日 時】 10月10日(土)~11月23日(月・祝) ただし、左記期間のうち、  
 毎週土曜・日曜・祝日 午前9時30分~正午・午後1時~午後4時30分  
 【対象・参加費】 中学生以下無料 高校生以上100円 大人も参加できます

■ 同時開催 2階特集展示コーナー  
**没後80年 森半逸 山水の美**

【会 期】 前期 10月6日(火)~10月25日(日)  
 後期 10月27日(火)~11月23日(月・祝)

**次回予告**  
 特別展 発掘された日本列島2020  
 【会 期】 11月28日(土)~12月27日(日)  
 ■ 2階特集展示コーナー  
**発掘された一宮**  
 【会 期】 11月28日(土)~令和3年1月31日(日)

令和2年度 企画展

# 禅僧の書

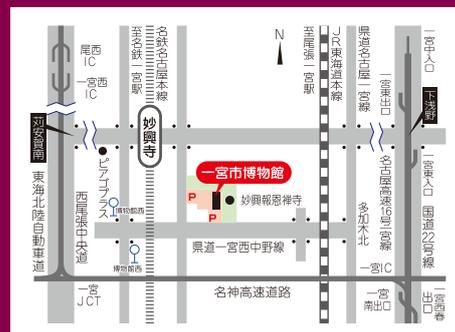
貞和4年(1348)、滅宗宗興により創建された妙興寺(一宮市大和町)には、禅僧による墨蹟や禅画が多数遺されています。妙興寺の住持は天正18年(1590)の南化玄興の入寺以後は妙心寺派出身者となりますが、それ以前は大応派を主として夢窓派・仏源派・仏光派・黄龍派などの出身者の禅僧が住持をつとめていました。そのこともあって、妙興寺には大応派を中心に諸派出身者の禅僧の墨蹟が伝わっています。また近世臨濟禅の中興の祖・白隠慧鶴やその弟子・東嶺圓慈のほか、その周辺で活躍していた禅僧の作品も伝わっています。

本展では、禅宗の古刹・妙興寺に伝わる寺室の中から、白隠や東嶺とその同時代の禅僧による遺墨及び『尾張名所図会』に描かれた文政3年(1820)の開帳時に公開された墨蹟・禅画を紹介いたします。

大胆な筆致や微妙な空間の取り方など独特の魅力に迫るとともに、禅の教えをわかりやすく紹介します。

**ご来館にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止にご理解とご協力をお願いいたします。**

- 発熱のある方、体調のすぐれない方、咳・咽頭痛などの症状のある方はご入館をご遠慮ください。
- マスク着用、咳エチケットにご協力をお願いいたします。マスク着用のない方はご入館をお断りする場合があります。スタッフもマスクを着用いたします。
- ご入館時をはじめ、手指の消毒、手洗いの徹底をお願いいたします。
- できるだけ2mを目安に、館内では人と人との十分な間隔をおとりください。
- 飛沫防止のため、展示室内での会話等はできる限りお控えください。
- 作品、展示ケース、壁には触れないようにしてください。



交通アクセス  
 名鉄名古屋本線「妙興寺駅」下車南口より徒歩約7分  
 ニコニコふれあいバス「博物館西」下車徒歩約5分